

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第37週の発生動向

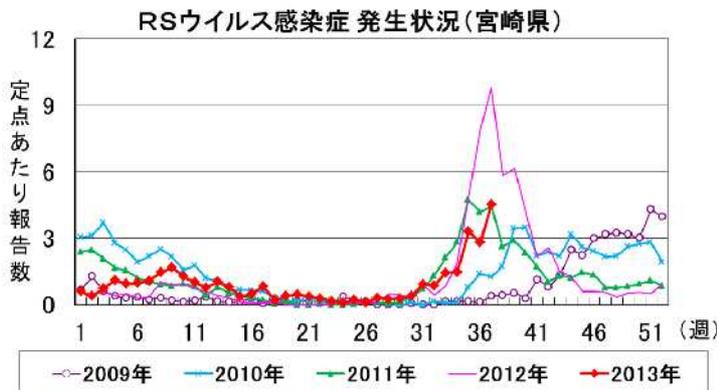
定点医療機関からの報告総数は674人（定点あたり22.3）で、前週比98%と横ばいであった。

前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

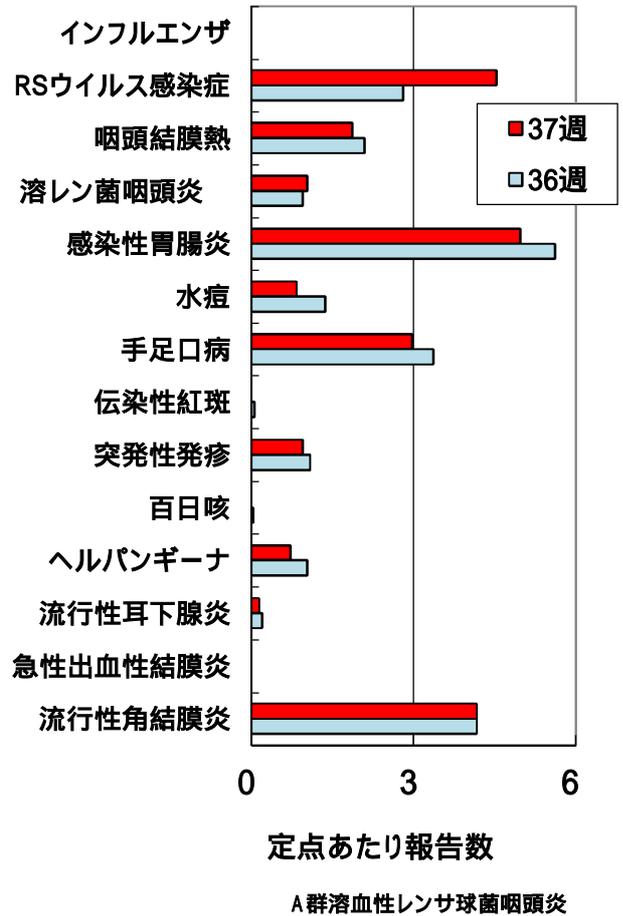
インフルエンザ・小児科定点からの報告

【RSウイルス感染症】

・報告数は163人(4.5)で前週比161%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (2.7) の約1.7倍である。延岡(12.5)、都城(6.8)保健所からの報告が多い。年齢別では6ヶ月未満が全体の約1割、6～11ヶ月が約3割、1歳が約4割、2歳が約1割を占めた。

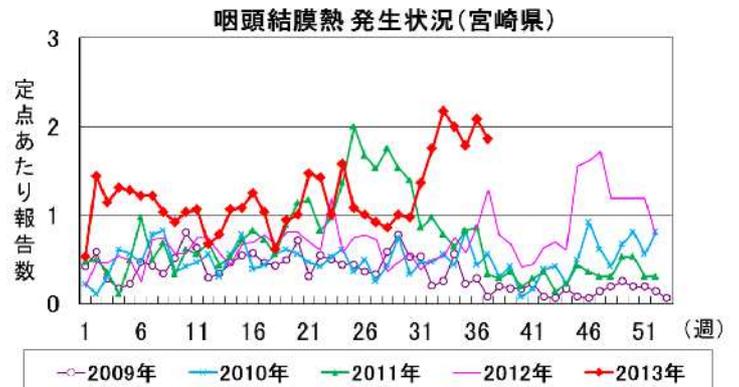


(前週との比較)



【咽頭結膜熱】

・報告数は67人(1.9)で前週比89%と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値* (0.66) の約2.8倍である。日南(6.7)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。



* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

基幹定点からの報告

無菌性髄膜炎：都城保健所管内で1人報告された。患者は月齢5ヶ月で、病原体はNorovirus genogroup unknown。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(6.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *
・咽頭結膜熱(3.0)

全数把握対象疾患 (37週までに届出のあったもの)

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 9 例。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 2 例。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： アメーバ赤痢 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	病型	症状 等
2類	結核	宮崎市	20 歳代	肺結核	咳、痰
			50 歳代	無症状病原体保有者	-
			60 歳代	無症状病原体保有者	-
		都城	40 歳代	その他の結核 (粟粒結核)	発熱、リンパ節腫大
			延岡	80 歳代	肺結核
		80 歳代		肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		日南	50 歳代	肺結核	咳、痰
			60 歳代	無症状病原体保有者	-
		高鍋	60 歳代	無症状病原体保有者	-
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	3 歳	患者	水様性下痢 原因菌:O血清型不明(VT1産生)
			4 歳	無症状病原体保有者	原因菌:O103(VT1産生)
5類	アメーバ赤痢	都城	20 歳代	腸管アメーバ症	粘血便、しぶり腹

全国第 36 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 12.8 で、前週比 100%と横ばいであった。今週増加した主な疾患は水痘とRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病であった。

水痘の報告数は 1,531 人(0.49)で前週比 140%と増加した。宮崎県(1.4)、福岡県(1.2)、新潟県・富山県(各 0.93)からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は 2,551 人(0.81)で前週比 127%と増加した。佐賀県(2.9)、宮崎県(2.8)、福岡県(2.6)からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第36週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	406 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	180 例	腸チフス	2 例
4類感染症	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	3 例	マラリア	1 例
	ライム病	1 例	レジオネラ症	26 例	レプトスピラ症	2 例
5類感染症	アメーバ赤痢	16 例	ウイルス性肝炎	5 例	急性脳炎	4 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例	後天性免疫不全症候群	21 例
	ジアルジア症	1 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	2 例
	梅毒	23 例	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例
	風しん	37 例	麻しん	6 例		

月報告対象疾患の発生動向 < 8月 >

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は34人（2.6）で、前月比79%と減少した。また、昨年8月（3.8）の約7割であった。

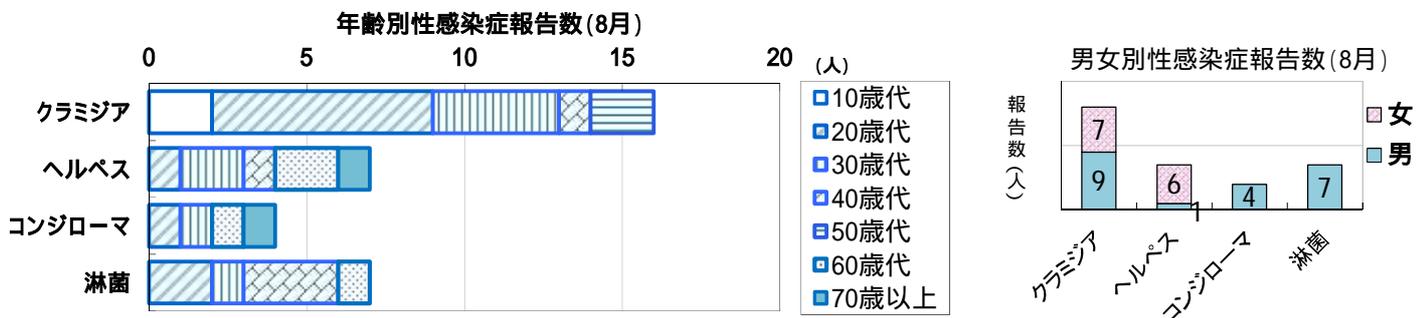
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数16人（1.2）で、前月の約6割、前年の約半数であった。20歳代が全体の約4割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約1.8倍、前年の約1.4倍であった。30歳代・60歳代がそれぞれ2人、20歳代・40歳代・70歳以上がそれぞれ1人であった。

尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月の約4倍、前年の約8割であった。20歳代・30歳代・60歳代・70歳以上がそれぞれ1人であった。

淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約6割、前年の約1.2倍であった。40歳代が全体の約4割を占めた。



【全国】 定点医療機関総数：976

定点医療機関からの報告総数は4,446人（4.6）で、前月比98%と横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,284人（2.3）で前月比98%、性器ヘルペスウイルス感染症798人（0.82）で前月比104%、尖圭コンジローマ502人（0.51）で前月比93%、淋菌感染症862人（0.88）で前月比98%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は28人（4.0）で前月比67%と減少した。また、昨年8月（4.6）の約9割であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人（3.9）で、前月の約7割、前年の約9割であった。70歳以上が全体の約6割、5歳未満が約2割を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数は1人（0.14）であった（前月及び前年同月は報告なし）。患者は0歳であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：472

定点医療機関からの報告総数は1,987人（4.2）で、前月比100%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,731人（3.7）で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症221人（0.47）で前月比87%、薬剤耐性緑膿菌感染症34人（0.07）で前月比78%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2013年 第37週(09月09日～09月15日)

疾病名		第36週	第37週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	101	163	32	41	50	1		15		23	1
	定点あたり	2.81	4.53	3.20	6.83	12.50	0.33	0.00	3.75	0.00	5.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	75	67	20	8	4	20	5	2		8	
	定点あたり	2.08	1.86	2.00	1.33	1.00	6.67	1.67	0.50	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	34	37	15	2	11	2		1		6	
	定点あたり	0.94	1.03	1.50	0.33	2.75	0.67	0.00	0.25	0.00	1.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	202	179	32	40	8	25	27	22	3	20	2
	定点あたり	5.61	4.97	3.20	6.67	2.00	8.33	9.00	5.50	3.00	5.00	2.00
水痘	報告数	49	30	11	3	4	2	2			8	
	定点あたり	1.36	0.83	1.10	0.50	1.00	0.67	0.67	0.00	0.00	2.00	0.00
手足口病	報告数	121	107	37	24	6	12		18		9	1
	定点あたり	3.36	2.97	3.70	4.00	1.50	4.00	0.00	4.50	0.00	2.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点あたり	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	39	34	9	7	4	2	6	3		3	
	定点あたり	1.08	0.94	0.90	1.17	1.00	0.67	2.00	0.75	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	37	26	7	6	2	5		1		5	
	定点あたり	1.03	0.72	0.70	1.00	0.50	1.67	0.00	0.25	0.00	1.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	7	5	1	1	1			1		1	
	定点あたり	0.19	0.14	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	25	25	17	5	3						
	定点あたり	4.17	4.17	5.67	2.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1		1							
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2013年第1週～37週)

2類感染症	急性灰白髄炎	1例	結核	193例(9)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	86例(2)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	4例
	つつが虫病	4例	デング熱	3例	日本紅斑熱	9例
	レジオネラ症	8例				
5類感染症	アメーバ赤痢	8例(1)	ウイルス性肝炎	3例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	7例
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	梅毒	7例	破傷風	4例
	風しん	23例				

()内は今週届出分、再掲